

第2期スポーツ基本計画のポイント

スポーツ基本計画… スポーツ基本法(2011(平成23)年公布・施行)に基づき、文部科学大臣が定める計画。第2期は2017(平成29)年度～2021(平成33)年度。

第1期基本計画

2020年
東京大会の
開催決定

障害者スポーツが
厚労省から
文科省へ移管

スポーツ庁の
創設

第2期
基本計画
策定

ラグビー
ワールドカップ等

東京オリンピック・
パラリンピック
競技大会

ワールド
マスタース
ゲームズ関西

2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022

第2期基本計画

ポイント1

スポーツの価値を具現化し発信。
スポーツの枠を超えて異分野と積極的に連携・協働。

～スポーツが変わる。未来を創る。Enjoy Sports, Enjoy Life～

「人生」が変わる！ 「社会」を変える！ 「世界」とつながる！

2

スポーツを通じた
活力があり絆の
強い社会の実現

障害者のスポーツ実施率(週1)

19% ⇒ 40%

スポーツを通じた健康増進

女性の活躍促進

スポーツ市場規模の拡大

5.5兆円 ⇒ 15兆円 (2025年)

スポーツウエアの関連消費額
2,204億円 ⇒ 3,800億円

戦略的な国際展開

100か国以上1,000万人以上にスポーツで貢献
2020年東京大会等の円滑な開催

ポイント3

障害者スポーツの振興やスポーツの
成長産業化など、スポーツ庁創設後
の重点施策を盛り込む。

1

「する」「みる」
「させる」

スポーツ参加人口
の拡大

スポーツ実施率(週1)

42% ⇒ 65%

スポーツをする時間を
持たれと思う中学生

58% ⇒ 80%

スポーツに関わる人材の確保・育成

総合型地域スポーツクラブの
中間支援組織を整備

47都道府県

学校施設やオープンスペースの有効活用

大学スポーツアドミニストレーター
を配置

100大学

など

3 国際競技力の向上

オリンピック・パラリンピックにおいて
過去最高のメダル数を獲得する等
優秀な成績を収められるよう支援

中長期の強化戦略に基づく支援
次世代アスリートの発掘・育成
スポーツ医・科学等による支援
ハイパフォーマンスセンター等の充実

4 クリーンでフェアな スポーツの推進

インテグリティ(誠実性・健全性・高潔性)を高める

コンプライアンスの徹底
スポーツ団体のガバナンス強化
ドーピング防止

ポイント2

数値を含む成果指標を第1期計画に
比べ大幅に増加(8⇒20)。